

令和3年度 学校経営計画書

石川県立門前高等学校

校長 金岡 利宏

1 教育目標

- ① ふるさに誇りを持ち、自ら学習を調整することで身につけた資質・能力を活用することにより、地域の活性化に貢献できる人間
- ② 高い規範意識と活力に溢れ、自分の良さや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働できる人間

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 受験者数の増加につながる魅力ある学校づくりを推進すると共に、市町や同窓会との連携を強化する必要がある。
- ② 自ら学習を調整する経験を重ねることで確かな学力を定着させ、国公立大学合格者の増加を含めた希望進路の実現を行う必要がある。
- ③ 探究活動やボランティア活動等における協働的な学びを、社会の創り手育成につなげる必要がある。
- ④ ボランティア活動や部活動をととして、公共心と規範意識を高め、個々の成長や役割を実感させることで人間としての在り方生き方の教育の充実につなげる必要がある。
- ⑤ インクルーシブ教育を推進し、七尾特別支援学校輪島分校と連携を充実させる必要がある。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 3年間を見通した進路計画に対する理解を深め、自らの気づきによる学習調整の経験を活かし、各自の最適な学びを実践することにより希望進路を実現する。
- ② 探究活動やボランティア活動として地域の行事参加経験で自己効力感を高め、地域の方々と共に地域振興の方策を提案・実践できる資質・能力・態度を育成する。
- ③ 部活動を含む高校生活全般において、忍耐や辛抱が必要となる体験により、生徒自ら考えた強い心や頑張る心が豊かな人生へとつながる生きる力を育成する。
- ④ 自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在と尊重し、多様な人々と協働しながら社会的変化を乗り越える社会の創り手を育成する。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 国公立大学個別試験に対応できる教科指導力向上の自己研鑽に努める。
- ② 探究活動において、地域の方々や関係機関との連携を密に行い、地域貢献の育成指導ができる資質・能力の向上を図る。
- ③ 地域に根ざした高校として、生徒・保護者・地域の信頼と期待に応える教育活動を組織的にを行い、ホームページや門前高校通信等で積極的に発信する。
- ④ 複数の校務分掌経営に主体的・積極的に参画し、学校の活性化に努める。
- ⑤ 危機管理、健康管理等の自己管理意識を高めると共に、教育の質を落とすことなくワークライフバランスの向上に向け、業務の見直しを図る。

3 今年度の重点目標

- ① G I G Aスクール構想の実践と共に、探究活動の充実による魅力ある学校づくりを推進する。
- ② 個に応じた多様な教育を推進し、キャリア教育の充実と3年間を見通した学力の向上計画によって、多様な進路実現を図る。
- ③ ワークライフバランスを取りながら、部活動やボランティア活動によって、学校の活性化を図る。
- ④ 地域社会や保小中特支と連携し、安心・安全な学校づくりを推進する。